

奈良時代

710年 - 794年

人物

聖武天皇 (国分寺、国分尼寺、東大寺大仏)



頻出記述問題 仏教の力で国を守ろうとしたため

鑑真 (仏教の教えをつたえる。)

行基 (仏教を広める活動をする。)

おおとものやかもち

大伴家持 (万葉集をまとめる)

天平文化

頻出記述問題

西アジアやインドの影響を受けた国際色豊かな文化

国分寺 国分尼寺 東大寺 (大仏がある)

正倉院 (西アジアやインドから持ち帰ったものを保管)

古事記・日本書紀 (神話や伝承などの歴史書)

風土記 (自然・産物や伝承) 万葉集 (歌集)

重要事項

国司と郡司 (国司が郡司を指揮して人々を治める。)

班田収授法 (6歳以上の人々に口分田をあたえる。)

重い税と死んだら土地を返さなくてはいけないため逃亡する人がふえる

さんぜいっしんのほう



三世一身法 (一定期間売ったりあげたりしてよい。)

あんまり効果ない



墾田永年私財法 (開墾した土地は私有地として認める)

公地公民がくずれはじめる

荘園と呼ばれるようになる

重要事項2

奈良時代の農民の税

租	稲の収穫の約 3% をおさめる
調	絹、魚などの 特産物 をおさめる
庸	労役の代わりに 布 をおさめる
出挙	稲をかりて利息付でかえす
雑徭	国司の下一年で 60日以内 の労役
兵役	衛士 (都の警備) 防人 (北九州警備)

わどうかいちん
和同開珎

銀製と銅製がある

